

障害者

NO	タイトル	時間	ビデオ媒体	字幕等	所管
1	はばたけ明日への瞳	51分	VHS	—	人権啓発課
	(1986年作品) 5年1組は2学期に、新しい日比野先生に替わりました。そこには情緒障害児の小坂勇二くんがいました。彼はみんなとはあまりしゃべらず、いつもうさぎ小屋でうさぎと話しているのです。クラスでは、ガキ大将に「いじめ」られていました。そのクラスが……。				
2	がんばれ まあちゃん	48分	VHS	字幕	人権啓発課
	(1995年作品) 生まれつき耳が聞こえなく、話もできない5歳のまあちゃんが、障害にぶつかりながら温かな家庭に見守られて成長していく姿を、姉・かよの目を通して描いています。				
3	風のひびき	54分	VHS	—	人権啓発課
	(2001年作品) 聴覚に障害のある主人公奈緒は、ホームヘルパーとして働きながら、様々な現実の壁とぶつかります。また、恋人淳からプロポーズされますが、淳の両親が二人の結婚を認めるかどうか気がかりです。二人は悩みながらも、心のバリアフリーを信じて前向きに生きようとしていきます。				
4	わすれるもんか！	40分	VHS	—	人権啓発課
	(1993年作品) 障害者の人権を考えるのに大変よくできた物語です。物事のありのままに真直ぐに見ることができると共に生きる連帯感が生まれる。この物語は、小山正彦さんを中心とした盲学校生徒のギター演奏から始まります。				
5	おじいちゃんの花火(アニメ)	25分	VHS	—	人権啓発課
	(1997年作品) 交通事故で両親を失い、自分自身も障害を持つようになった女子中学生が、未だ会ったことのない花火職人の祖父に会いに出る冒険と、それを助けるメール友達や介護犬の活躍を、美しい隅田川の花火とともに描いています。				
6	校長先生が泳いだ(アニメ)	20分	VHS	—	人権啓発課
	(1996年作品) 身体にハンデをおった少女が、何事にも負けまいと頑張ります。それを見守る仲間も、決して揶揄することなく励まします。山間の廃校と決まった分校での、先生と子どもたちの暖かい物語を通して、人の思いやる心の素晴らしさ、大切さを訴えます。				

7	新ちゃんがないた！(アニメ)	36分	VHS	—	人権啓発課
	(1990年作品) 四肢性マヒという障害のため、病院の設備が整った学園に通っていた新ちゃんが、4年ぶりで家に帰ってきた。幼なじみのツヨシと同じ5年2組に編入され、新しい生活が始まるが、彼の行く手には様々な困難が待ちうけていた。「何が生きて生き抜いていく勇気につながるのか」「何が真の人と人とのつながりをつくるのか」原作者からのメッセージを受けとめてください。				
8	ぼくの青空(アニメ)	26分	VHS	—	人権啓発課
	(1997年作品) どんなに辛くとも生きることを諦めない！難病と闘う義人の心からの叫びが、命の尊さ、大切さ、を訴えます。				
9	5等になりたい(アニメ)	76分	VHS	—	人権啓発課
	(1995年作品) 小さい頃の病気がもとで皆と同じように歩くことができず、クラスメイトたちからかわれる律子。傷心の律子は、足のマッサージの先生から《人としての本当のやさしさ、強さ》を教わります。それをきっかけに、明るくたくましく生き抜こうとする。さあ、かけっこで5等になる律子の夢はかなうのでしょうか。				
10	とべないホテル(アニメ)	18分	VHS	—	人権啓発課
	(1990年作品) ぼく、どうしてとべないんだろう。勇気あるホテルと優しい子どもたちの心の物語です。				
11	盲導犬クイールの一生(アニメ)	25分	VHS	—	人権啓発課
	(2003年作品) 静かに、いっしょうけんめい生きました…。クイールは、ずっとあなたのそばにいます。 全国の人々の瞳を感動の涙で濡らせたあの物語。「盲導犬は、ただ道を教えてくれるだけと 思っていました、でも違いました。いっしょにいてだけで気持ちを明るくしてくれる友だちなんです ね」 パートナー 渡辺 満				
12	心をむすぶ愛のハーネス	55分	VHS	—	労働雇用政策室
	小百合さんは中学時代に失明一時は希望を失いましたが盲導犬カンナと出会い、5キロのロードレースに挑戦。みごと「走り抜いた」ことで多くの人々に勇気と感動を与えます。				
13	風の旅人(アニメ)	30分	VHS	—	人権啓発課
	人権啓発アニメーション・障害者問題編～ベッド式の手椅子を通りがかりの人々に押ししてもらい旅をする……。人々の間を風のように駆け抜けた、実在の重度身体障害者の感動的な生きざま…。				

	どんぐりの家(アニメ)	110分	DVD VHS	字幕	人権啓発課
14	<p>聴覚障害に加え、知的障害や精神障害を併せ持つというハンディを背負った子どもたちの成長を願い、苦しみながらも歩いていく両親や家族、それを支える人々のひたむきな姿を描いたアニメーションビデオ。</p>				
	よーいドン！	18分	VHS	—	人権啓発課
15	<p>この作品は、子どもたちが友だちの違いを理解し、その違いを排除するのではなく、受容していく「共生」の素晴らしさと、その根底にある人間の尊厳を描くことをねらいとしています。</p> <p>また最近の子どもたちの「忍耐力の欠如」や「人の痛みを感じない」等の問題点にも焦点をあてるために、団体スポーツ競技を題材とし、正しい競争とは何か感動を伴わせながら描きました。</p> <p>「30人31脚」に出場することになった5年1組33人の子どもたちにふりかかった問題は30人しか出場できないということ。足が速い子とそうでない子、性格的な違い、小さい時に足に障害を持った子、不登校を起こしている子等等、一人ひとりの様々な違いがぶつかり合います。勝つことだけを考えていらだっていた子どもたちも、次第に皆の力をあわせることで自分の力以上のことができることに気づき始めます。</p>				
	旅立ちの日に(アニメ)	40分	VHS	字幕	人権啓発課
16	<p>だれもが人権尊重の大切さは知っています。しかし、周りの人や自分の言動を振り返ってみるとどうでしょうか。</p> <p>「こうあらねばならない」という固定的な考えや「こうすべきだ」という他人の意見に左右されて相手を認めようとしていないこともあるのではないのでしょうか。</p> <p>なかでも、私たちは障害のある人と接するとき、「障害があるからできないのではないか」という思い込みがあって、障害のある人の自立や社会参加を阻んでしまっていることがあります。</p> <p>この映画は、あるウェディングコーディネーターが、手づくりの結婚式の企画に携わる過程で、登場するそれぞれの人の力で家庭の問題や世間体の問題などを解決し、自分の心にある見えない障壁を壊し、「心のバリアフリー」を形成していく様子を描いています。</p>				
	桃色のクレヨン(アニメ)	28分	VHS	字幕 副音声	人権啓発課
17	<p>美奈子は、8年ぶりに外国から帰ってくるいとこの雪ちゃんと会える期待でいっぱい。学校の友人たちに雪の自慢をします。ところが美奈子の前に現れた一歳年上の雪は幼く見え、父から雪には知的障害があることを知らされます。友人たちについてのウソがばれて、美奈子はみんなから仲間はずれにされてしまいます。そんな中、雪のやさしさにふれるなかで美奈子は様々なことに気づかされます。雪は桃色のクレヨンを探しています。みんなはピンクのクレヨンを差し出しますが、「ピンクと桃色は違う」と言って雪は受け取りません・・・</p>				

18	みみをすます	46分	VHS	字幕	人権啓発課
<p>この作品は、バリアフリーを体感するビデオです。私たちが障害者の福祉を考えると、障害者と健常者というそれぞれのカテゴリーに分けて捉えがちです。しかし、こうしたバリアを取り払い、区別なく同じ人間としての感覚を共有することは重要なことです。「みみをすます」は、音や音楽とは何かを考えるビデオです。聴覚障害者にとって「聴く」とは何か？そして「聴こえない」という「障害」ってなんだろうということを、障害者自身の体験を共有することで考えていきます。楽しい音楽や詩を主人公のゆんみと同時に体感しながら、真のノーマライゼーションとは何かを問いかけます。出演・ロバの音楽座、谷川俊太郎、野々歩ほか。</p>					
19	風と大地と梨の木と 第2章 「カナエの結婚」	40分	VHS	—	人権啓発課
<p>信彦のたった一人の妹カナエ。そのカナエが結婚の報告に帰ってきた。信彦もツネも大喜びして歓迎する。結婚式は立派に盛大に盛り上がる中、カナエは婚約者である浩一の写真を二人に見せた。手にした信彦は絶句する。写真の男性は、車椅子に乗っている障がい者である。(考え直せ……人生は甘くない……なんでお前がしょいこむんだ……)信彦は反対する。そんな信彦を見て高岡は〈お前は、俺を通して何を学んできたんだ〉と叱咤する。信彦は、カナエや高岡の心を風に聞こうとひとり丘に立つ。そして、意を決した信彦は、カナエのマンションへ。そこには……。</p>					
20	生きてます、15歳。(アニメ)	22分	VHS	字幕 副音声	人権啓発課
<p>2002年制作 我が子の自立を想い、厳しく育てる母。そんな母に反発しながらも美由紀は明るくたくましく成長していく。わずか500グラムで生まれ、未熟児網膜症のために失明してしまった井上美由紀さんとお母さんの心の交流と成長を描いた感動の著書のアニメ化作品。</p>					
21	障害のある人とのふれあいと人権 —今まで声をかけられなかったあなたへ—	23分	VHS	字幕	人権啓発課
<p>2008年作品 バリアフリー社会をめざして、障害者にとって4つのバリア(環境・制度・情報・意識)をなくすべく、たくさんの改善が行われました。しかし、最も遅れているのは意識のバリアではでしょうか？街で困っている障害者を見かけても、声をかけない、関わらない。そこにあるのは、無関心と同時にどう関わってよいのかわからないという知識のなさが原因ともいえます。この作品は障害者自身の言葉で、どう関わってほしいかを伝えます。</p>					
22	エールを贈るバス	29分	VHS	—	人権啓発課
<p>2005年制作 直子(11歳)の母は、障害のある少女の心を傷つけてしまう。直子はすぐに母の間違いに気づき、心を傷つけた少女智香(8歳)に、母と二人で誤りに行く。勇気をだして謝ったことで、直子と智香の友情が芽生え、直子たちは、障害者も健常者も同じ社会の一員として認め合う事の大切さを学ぶ、児童向きの作品です。</p>					

23	<p>知的障害者の雇用への道 ～歩みはじめた医療現場の実践から～</p>	27分	DVD	—	労働雇用政策室
	<p>2007年制作 このビデオは障害者雇用が困難と思われてきた医療の現場において、大阪府済生会とエル・チャレンジ(大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合)が共同で、大阪府済生会吹田病院の仕事づくりから雇用まで、一貫した就労支援を記録したものです。ここに登場する障害当事者はエル・チャレンジの訓練を経て就職に向けた活動を始めていました。人と人とのふれあい、緊張感溢れる働く姿、職域開拓に挑戦する医療現場でのリアルな現実を通して、共に働く意味を一緒に考えていく作品です。</p>				
24	<p>「ぼくらの学校」 (与謝の海養護学校の実践)</p>	98分	VHS	—	人権啓発課
	<p>2007年制作 学校に入学する年齢になっても入れる学校がなくて、「学校に行きたい」「友だちがほしい」とねがい続けていた子どもたちや「ねたままのうちの子にも1週間に1時間でも学校にいかせてほしい」という親の願いを实らせようとたくさんの人たちの力を集めて作られました。学校が開校して10年後に養護学校の義務制が制度化されました。この学校の開校と実践は、大事な役割を果たしています。設立の意義を多くの人に知ってもらうため、1981年国際障害者年を記念して製作されました。</p>				
25	<p>障害者と補助犬の生活から学ぶ【総合編】</p>	20分	DVD	—	人権啓発課
	<p>全国の補助犬育成団体で構成される「社団法人 全国は女権育成連合会」が小中学生への情操教育として、また生徒たちが補助犬や社会福祉に関心を持ち、社会参加への理解を深められることを目的として制作されています。 収録内容 ○補助犬とは ○目に障害がある人たちの生活 ○手や足に障害がある人たちの生活 ○耳に障害のある人たちの生活 ○身体障害者補助犬法 ○知ってほしいこと ○障害を持つ人からのメッセージ</p>				
26	<p>障害者と補助犬の生活から学ぶ【盲導犬編】</p>	20分	DVD	—	人権啓発課
	<p>全国の補助犬育成団体で構成される「社団法人 全国は女権育成連合会」が小中学生への情操教育として、また生徒たちが補助犬や社会福祉に関心を持ち、社会参加への理解を深められることを目的として制作されています。 収録内容 ○補助犬とは ○目に障害がある人たちの生活 ○身体障害者補助犬法 ○盲導犬の一生 ○知ってほしいこと ○盲導犬のいる社会</p>				

27	障害者と補助犬の生活から学ぶ【介助犬編】	20分	DVD	—	人権啓発課
	<p>全国の補助犬育成団体で構成される「社団法人 全国は女権育成連合会」が小中学生への情操教育として、また生徒たちが補助犬や社会福祉に関心を持ち、社会参加への理解を深められることを目的として制作されています。</p> <p>収録内容 ○補助犬とは ○手や足に障害がある人たちの生活 ○身体障害者補助犬法 ○介助犬の一生 ○知ってほしいこと ○介助犬のいる社会</p>				
28	障害者と補助犬の生活から学ぶ【聴導犬編】	20分	DVD	—	人権啓発課
	<p>全国の補助犬育成団体で構成される「社団法人 全国は女権育成連合会」が小中学生への情操教育として、また生徒たちが補助犬や社会福祉に関心を持ち、社会参加への理解を深められることを目的として制作されています。</p> <p>収録内容 ○補助犬とは ○耳に障害のある人たちの生活 ○身体障害者補助犬法 ○聴導犬の一生 ○知ってほしいこと ○聴導犬のいる社会</p>				
29	ありがとう	55分	DVD	—	人権啓発課
	<p>この映画は、筋ジストロフィーを患った石川正一さん(享年23歳)の闘病記録の作品であり、78年1月からその最後の1年半の生活を克明に追ったドキュメントである。正一さんに最後まで対面してきた家族のさまざまな人生—正一さんの病気を契機に福祉活動や看護師の道に入った両親や兄弟のこれからの歩みを明確に位置づけているところで映画は終わる。一患者の闘病記録を通して深く人生を考えさせる稀有な記録映画である。</p>				
30	きいちゃん 私、生まれてきてよかった！	21分	DVD	—	人権啓発課
	<p>原作者の実体験をもとに、障害があっても前向きに生きる主人公・きいちゃんの姿を描きます。国語の教科書にも取り上げられた感動の作品をアニメーションにしました。</p>				
31	みんなで跳んだ	28分	DVD	—	人権啓発課
	<p>たくさんテレビ番組で紹介され、日本中の人々を感動の渦に巻き込んだ、あの実話がアニメになりました。今、いちばん大切な何かがこの物語の中にあります。</p>				
32	モップと箒 —大阪発の障がい者雇用—	30分	DVD	—	人権啓発課
	<p>2011年制作 障がい者雇用の場は広がりつつある。が、働きたいのに働けない障がい者は、まだ数多く存在する。エル・チャレンジに関わった知的障がい者と支援者の姿を一年半に亘り密着取材した作品。そこには、固く暗いイメージはなく、人と人とのつながりの中にぬくもりがあった。つながりの中でこそ成長・・・社会の中で働くことの意味を、いま一度問いかけたい！</p>				

	ちよつと青空	31分	DVD	—	人権啓発課
33	自分だけの空間と人間関係。それが施設から出た理由。重度障がい者で自立生活30年のマサヒロさんがいろいろな人と接し、多くの人に元気を与えていくヒューマンドキュメンタリーです。				
	あした天気になる？ 発達障がいのある人たちの生活記録	85分	DVD	—	人権啓発課
34	(2013年) 福岡県鞍手町にある知的障害者入所施設には、知的や自閉症など精神発達に障害のある人たち30人がともに生活しています。そこで生活する人たちと、その障害の特性をよく理解し、日常よりそう職員の姿を、約1年間にわたる生活の中から見ていくものです。				
	無関心ではいけない！ 障害者の人権 障害者差別解消法を理解する	24分	DVD	字幕	人権啓発課
35	人は誰でも、老化によって足腰が弱ってきたり、視力や聴覚が衰えてきます。いつかは障害者と同じような不自由を感じる可能性があります。障害者に対して無関心ではいられない時代になってきているのです。この作品は、現在、日本が取り組んでいる国連の「障害者の権利条約」批准に向けての要件である「差別解消法」への理解を深めるためのものです。具体的に、視覚障害者、聴覚障害者、車いすの方の日常を通して、障害を理由にした直接差別、障害を理由にしない間接差別、合理的配慮を怠った場合の差別について考えます。				
	将也 将也 聲の形	30分	DVD	字幕	人権啓発課
36	(2015年) 「あの時、アイツの声が聞こえていれば・・・。」 将也のクラスに転校してきた硝子(しょうこ)は聴覚障害者だが、筆談ノートで積極的に皆に語りかける。当初は好意的に受け入れていた将也やクラスメイト達だったが、硝子が原因で授業が止まったり、筆談ノートの煩わしさに徐々にストレスを感じていく・・・。 本作は原作の物語を基本に、教材としてのテーマを付加した実写版ドラマ形式の学習教材です。				
	障害のある人と人権	33分	DVD	字幕	人権啓発課
37	(2018年作品) 障害のある人もない人も誰もが住みよい社会をつくるためにはどうしたらよいのでしょうか？このDVDでは、障害のある人が直面する人権問題や心のバリアフリーの実現に向けた取組などを紹介し、「障害のある人と人権」について考えていきます。				